

福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案） に対する意見（概要）

2022年（令和4年）8月5日

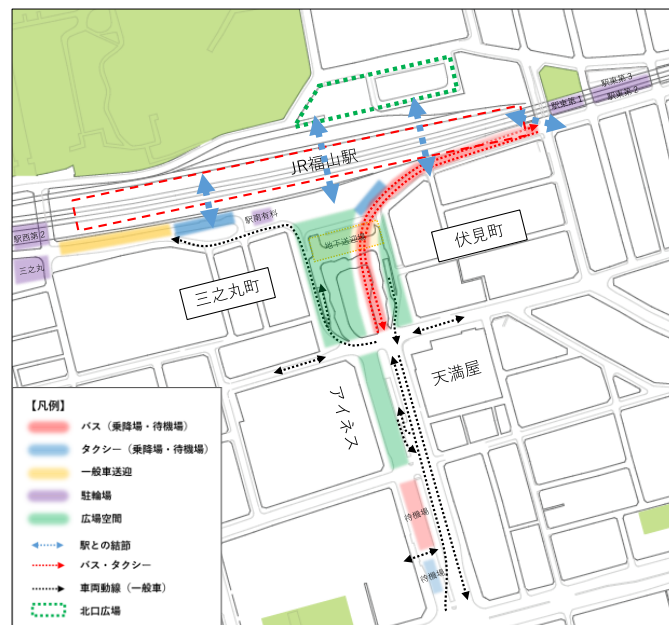
福山市 建設局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

1. 素案について（振り返り）

（1）素案の作成

- ✓ 協議会等の開催やアンケート調査の実施により、幅広く意見を聴取しながら、叩き台となる福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）を作成した。
- ✓ 素案は「最終案」ではなく、更に広く意見を聴き取るために作成したものであり、協議会やシンポジウム等での意見や実証実験による検証を踏まえ、修正を加えながら、今年度、基本方針を策定することとしている。

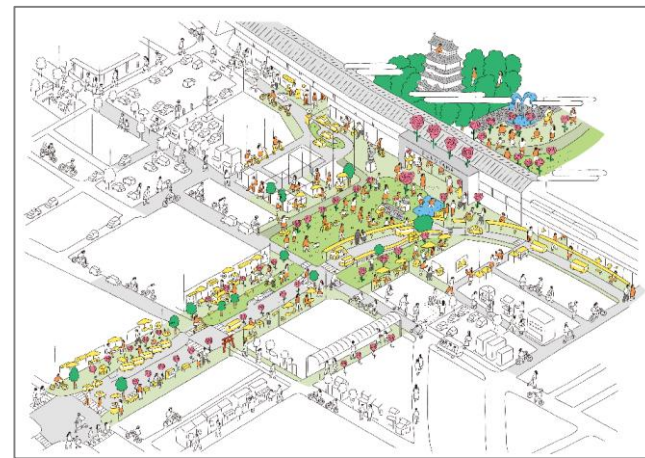
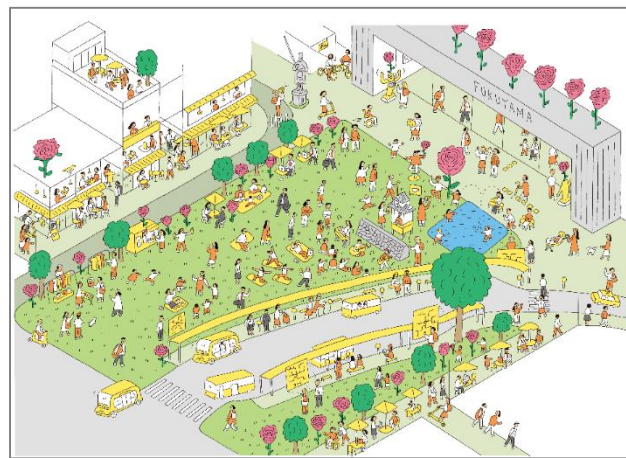
●福山駅前広場の各機能の配置計画案（素案）



（2）素案のイラスト

- ✓ 各交通機能や広場機能の配置、広場の使い方、駅前広場と周辺街区のつながりをイメージしていただくためにイラストを作成した。

●素案のイラスト



2. 素案の周知と意見聴取の方法

(1) 周知及び意見聴取の方法

✓ 福山駅前デザイン会議や福山駅前広場協議会、福山駅前広場デザインシンポジウム、ホームページ・SNS等、様々な方法で素案の周知及び意見聴取を行った。

● 第2回福山駅前広場協議会(2022.1.25)



● 第12回福山駅前デザイン会議(2022.2.14)



● 第3回福山駅前広場デザインシンポジウム(2022.3.18)



● ホームページ・SNSなど

☞ 議論経過の発信

- ・ 資料や議事録の公表
- ・ 各会議の動画配信

☞ 素案に対する意見募集

- ・ インターネットによる意見募集
- ・ 市庁舎等でのアンケートによる意見募集

3. 主な意見の整理

(1) 機能の配置に関する意見

●交通結節機能を重視する意見

①福山駅前広場協議会

- 1次交通から2次交通への接続距離をできるだけ短くしてほしい。
- 初めて福山を訪れた人にとっては、駅舎を出て目の前に公共交通が見えることが大事。
- 路線バスの利用者の安全と利便性が大事。
- 路線バスは南方面から流入し、南方面へ流出するルートが必要。

②福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- 観光客が駅前広場で観光バスに乗降できるようになると福山の印象が良くなるため、観光バスの乗降場は駅の近くにあると良い。
- 高齢者や障がい者は歩くことが大変なため、駅前広場で公共交通や自家用車に乗降できることが必要。

●都市の広場機能を重視する意見

①福山駅前デザイン会議

- 天満屋から三之丸町に抜ける東西の道路が南北を分断している。地下を使って、地上を自由に行ける工夫をしてほしい。

②福山駅前広場協議会

- 全面的に広場としての機能を生かす。
- 現状では駅前広場を横断して伏見町と三之丸町を行き来することが難しい。
- 他県から訪れた人が素敵に感じるような広々とした空間があると良い。
- ビジョンにあるような広場をめざしてほしい。

③福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- 駅前広場は人が集う場所、広場外にバスセンターを配置して、人と車を分離してはどうか。
- 広場を縦断する道路が東西の空間を分断しているため、人が広場を通して自由に東西に行き来できるような配置とすべき。

○まとめ

- 機能の配置に関しては、交通結節機能を重視する意見と都市の広場機能を重視する意見がそれぞれある。

○市の考え方

- 過年度のアンケート調査結果では交通結節機能と都市の広場機能の両方が求められていることが分かっており、両方の機能をバランス良く配置することが必要と考えている。
- 意見を参考にしつつ、交通空間は駅舎との結節を確保しながら広場の内外に配置するとともに、環境空間は歩行者の東西方向の移動のしやすさを確保しながら広場の東西に分散配置することを基本に考えていく。

3. 主な意見の整理

(2) 遺構の保存・活用に関する意見

①福山駅前広場協議会

- 遺構の再現を前提にするべき。
- 福山の礎を築いたシンボルという意識で史跡を取り扱う。
- 二重櫓を再建してほしい。
- 駅前広場も城郭の一部だという見せ方が必要

②福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- 福山城の遺構を活用するため、石垣や二重櫓の再建をしてほしい。

○まとめ

- 石垣や二重櫓の再現を求める意見がある。
- 遺構を福山の礎を築いたシンボルとして扱うという意見や駅前広場を城郭の一部として扱うという意見がある。

○市の考え方

- 福山城の遺構や関連する歴史資源を大切にすることは必須になることを基本方針に明記するよう考えている。
- 遺構の保存・活用の検討に向けて、遺構の取扱いの方針を検討していく。

3. 主な意見の整理

(3) 広場の利活用に関する意見

①福山駅前デザイン会議

- ・ 今後、伏見町の開発を考えると、広場との関係性をどのように作るかが重要になる。
- ・ 広場に隣接する施設がどのように広場と連携するのか、もしくは広場の機能をどのように民間の敷地に取り込んでいくのかを議論する必要がある。
- ・ 最終的に駅前広場が福山の顔、玄関口になるということを大命題にしておかなければならない。

②福山駅前広場協議会

- ・ イベントなどが出来ることは市民にとって大事。
- ・ 広場に面している部分との連携が大事。
- ・ 官民連携による運営のあり方を検討してほしい。

③福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・ 芝生は見栄えは良いが、イベントなどの使い勝手や維持管理、多くの人歩くハードな使い方に耐えうるのかなどの課題があるため、実際の使い方を考慮した計画づくりが必要。
- ・ 初夏や秋にはばらの広場になり、お盆には二上り踊りができる広場になるなど、季節によった使い方ができると良い。
- ・ 色々な事がしたくなる空間づくりが大事。駅前広場に色々な店舗が集まり、コミュニティができると良い。出店しやすい料金設定も大切になる。

○まとめ

- ・ 広場と隣接する施設の連携が大事になるという意見がある。
- ・ 様々な利用を求める意見があるとともに、実際の使い方を考慮した計画づくりが求められている。
- ・ 広場の管理・運営方法については、官民連携による運営のあり方が求められている。

○市の考え方

- ・ 広場に隣接する施設とどのように連携するのかを検討する必要がある。
- ・ 広場の利用者が駅前広場でどのような活動をしたいたのか把握する必要がある。
- ・ 官民連携による運営方法を検討していくため、様々な民間事業者に運営に関する考え方を聴く必要がある。
- ・ 広場のニーズや民間事業者の意見を踏まえながら、駅前広場の管理・運営方法を検討していく。

3. 主な意見の整理

(4) 立体利用に関する意見

①福山駅前広場協議会

- ・ 福山城が見えるようにアイネスから天満屋の間に陸橋を作ってほしい。
- ・ 既存の地下駐車場を拡張し、地下送迎場に結節できれば、広場内の地下への斜路が不要になり広場として使える。また交通処理をスムーズにできるアイデアが出てきやすい。

②福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・ 旧キャスパ東側(駅前広場西側)の車道は廃止が望ましいが、現状の道路状況で廃止すると、車が駅前からニューキャッスルホテル方面へ向かうのに大きく迂回せざるを得ず、非常に不便になる。かといって、三之丸町内の道路を拡張して対面通行にするのは、土地の余裕もなく、非常に難しい。そこで、地下送迎場の入口を下った先のヘアピンカーブ付近から西に分岐し、スロープを上ってダイワロイネットホテル北側辺りで地上に出る道を検討してはどうか。
- ・ 福山駅からバス乗場までつながる歩行者用屋根を設置し、突然の雨や夏の暑い日差しから守る。屋根の配置は広場の開放感を保つために最小限とし、屋根と空間の調和を図る。

○まとめ

- ・ 福山城が見えるように陸橋の設置を求める意見がある。
- ・ 雨よけや日よけのために屋根の設置を求める意見がある。
- ・ 環境空間の確保や交通処理のために、地下利用を求める意見がある。

○市の考え方

- ・ ペDESTリアンデッキなどの整備による上空利用については、駅舎がダブルデッキのため駅利用者の昇り降りが生じることなどから望ましくないと考えている。
- ・ 福山城が見える場所や屋根については基本計画を作成する際に、広場の使い方や運営方法を踏まえながら検討する。
- ・ 地下利用については、環境空間が増えることや交通処理がスムーズになることなどの理由から、今後、地下駐車場と地下送迎場の接続及び地下送迎場からダイワロイネットホテル北側への出口の新設の検討を行う。

3. 主な意見の整理

(5) 駅周辺の交通のあり方に関する意見

●駅周辺の交通処理に関する意見

①福山駅前デザイン会議

- ・ 駅周辺の交通処理や駐車場配置だけでなく、都市圏を含めた交通計画を考えると良い。

②福山駅前広場協議会

- ・ 車や自転車の流動を考える必要がある。
- ・ 三之丸町の道路再編の検討をして欲しい。
- ・ 伏見町周辺の交通対策を検討して欲しい。
- ・ 歩行者と車両を分離して、歩きやすいまちにできると良い。

③福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・ 安全性を確保するために、バスの乗降場を配置する区間において、自家用車を通行制限し、公共交通のみ通行可（トランジットモール化）とすると良い。

○まとめ

- ・ 都市圏を含めた交通計画を検討した方が良いという意見がある。
- ・ まちづくりの観点から、歩行者と車両の動線分離を求める意見がある。
- ・ 安全性の観点から、バス乗降場の区間において、自家用車を通行制限し、公共交通のみ通行可能とする意見がある。
- ・ 駅前広場の再整備による影響が考えられるため、伏見町周辺の交通への影響の検討を求める意見がある。
- ・ 一般車が通過する道路（旧キャスパ前の道路）を廃止するため、三之丸町の道路再編の検討を求める意見がある。

○市の考え方

- ・ 交通施策の考え方との整合や調整を行いながら、駅前広場や駅周辺道路の整備を検討する。
- ・ 駅前広場内の歩行者動線と車両動線の基本的な考え方については、基本方針に明記することを考えている。具体の動線計画については、基本計画を作成する際にレイアウトや施設配置とともに検討する。
- ・ トランジットモール化については、伏見町周辺の交通処理への影響が考えられるため、安全性と利便性のバランスを考慮しながら検討する。
- ・ 旧キャスパ前の道路（広場内の西側道路）は将来的に廃止することが望ましいが、当該道路の代替機能を検討する必要がある。

3. 主な意見の整理

(5) 駅周辺の交通のあり方に関する意見

●自転車に関する意見

①福山駅前広場協議会

- ・ 歩行者と自転車の分離を検討してほしい。
- ・ 自転車に特化したまちづくりをしてはどうか。

②福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・ 駅前広場及び駅周辺のウォークアブルな空間の実現に向けて、歩行者の安全性を確保するため、自転車と歩行者の分離が必要。

○まとめ

- ・ 歩行者動線と自転車動線の分離を求める意見がある。
- ・ 自転車に特化したまちづくりを求める意見がある。

○市の考え方

- ・ 駅前広場内の歩行者と自転車の分離については、安全確保の観点から、自転車施策の考え方との整合や調整を図りながら、ハードとソフト両面で検討する。
- ・ 自転車に特化したまちづくりについては、ルート案内看板の設置や路面標示、自転車の組立場の設置など、自転車を利用しやすい環境の整備を進めている。また、観光コンテンツとして発信を行い、市外からのサイクリストの誘客を促進している。

3. 主な意見の整理

(5) 駅周辺の交通のあり方に関する意見

●公共交通に関する意見

①福山駅前デザイン会議

- ・ウォークブルエリア内の移動や駅前と郊外をつなぐことが大事になる中で、公共インフラの一つとしてどのように維持していくのが課題。運賃をゼロにすることは難しいが、税金で賄うのではなく、別の手段で収益を上げて、その収益で賄える仕組みづくりができると良い。

②福山駅前広場協議会

- ・路線バスの運賃を無料にする実験をしてはどうか。

③福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・公共交通の無料キャンペーンをやってもらいたい。
- ・福山市のバス利用はとても不便。

○まとめ

- ・公共インフラを維持していくための仕組みづくりが大事になるという意見がある。
- ・公共交通の利用促進のため、料金の無料化などの実証実験を求める意見がある。

○市の考え方

- ・ウォークブルなまちづくりの観点だけでなく、高齢化による免許返納者の増加などの様々な観点から、公共インフラとしての公共交通の利用促進やサービスの維持は課題だと考えている。
- ・公共交通の利用を促進し、持続的にサービスを維持するため、民間事業者と連携した仕組みづくりを検討する。

3. 主な意見の整理

(5) 駅周辺の交通のあり方に関する意見

● 駐車場に関する意見

① 福山駅前広場協議会

- ・ 伏見町にバスターミナルが計画されるということも可能性としたらあるのではないかと。大きな集約駐車場を一緒につくることで、駅前に来やすくするというのも大事だと思う。今後の伏見町のまちづくりを考えるきっかけにもなる。

② 福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- ・ 自家用車で駅前に行く際、既存の駐車場だけでは不足している。

○ まとめ

- ・ 駐車場が不足しているという意見がある。
- ・ 伏見町に大きな駐車場を設置してはどうかという意見がある。

○ 市の考え方

- ・ 当面の土地利用を目的とした小規模駐車場が増加してきており、中心部では供給過多となっているものの、駐車場が不足しているという意見があることから、目的地周辺の駐車場が不足していることが推測される。
- ・ 車でも来やすく歩いて楽しい空間を創出していくためには、利用しやすい場所に駐車場を誘導・集約化していくことが必要となる。
- ・ 現在、駐車場の誘導・集約化に向けて、駐車場配置適正化区域の指定の検討を進めている。

3. 主な意見の整理

(6) その他

①福山駅前デザイン会議

- 居心地の良いウォークアブルな空間とはどのような空間なのかを議論した方が良い。
- 駅前が市全域あるいは備後圏域の発展に寄与することを考えると、駅周辺だけでなく郊外の人達の声を拾うことも大事。

②福山駅前広場協議会

- 5年後、10年後を見据えた議論をする。
- 駅前広場を作ることが目的ではなく、新しい価値を生み出す事が目的
- 駅前広場の再編が駅周辺エリアの回遊性の向上に資することを示すべき。
- 学生の視点は今後のまちづくりに欠かせない。
- 伏見町と駅前広場を一体に考えていくべき。
- 観光と商業が一体となったまちづくりを行いながら、そこに二次交通をどのように配置するかを考える必要がある。
- 公共空間の利活用の実験や交通再編の実験にチャレンジする。協議会組織が主体となって実験を行っていくと良い。

③福山駅前広場デザインシンポジウム・ホームページ・SNS等

- 色々な意見があるため、全てをかなえるのは不可能。
- ほんといろいろな意見があってすべてをかなえるのは不可能ですよね。みんなで作るのって言うのは簡単だけど、実行するのは難しい。
- 駅前広場でどんなことが楽しめるか、わざわざ行く価値があるか、福山市民の誇りに思える駅前広場を期待しています。
- ワークショップをやりながら、子どもや学生の意見を収集してはどうか。自分の意見が反映された空間であれば、まちを好きになるきっかけにもなる。
- とてもよい会議内容だったので、もっときちんと情報発信して全市民が聞くべきだと思いました。そのために、フライヤーや会場設営もデザインして楽しげに展開することも必要だと思いました。聴けて良かったです。ありがとうございました。

多くのご意見を頂きありがとうございました。

引き続き、みなさまのご意見をお聴きしながら、市民のみなさまに愛され、誇りに感じられる駅前広場の検討を進めてまいります。

※主な意見を抜粋し、一部要約しています。

※協議会やシンポジウム等で頂いた意見の詳細は参考資料をご参照ください。